

C r e a t i v e S e c u r i t y P a r t n e r



この街には、CSPがいる。

CSP 通信 volume 45

第54期のご報告 2025年3月1日 - 2026年2月28日

証券コード: 9740

記念品を

60 名様に
進呈いたします

詳細は
中面へ

Creative Security Partner

～おかげさまで、
CSPは創業60周年を迎えました～

代表取締役 執行役員社長

市川 東太郎



当連結会計年度の業績は、売上高78,745百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益4,499百万円（同3.9%増）、経常利益4,701百万円（同3.0%増）となりました。

一方で、政策保有株式の売却益等による特別利益はあったものの、京三製作所との訴訟和解損失や日本連合警備に関するのれんの減損損失といった特別損失の影響により、親会社株主に帰属する当期純利益は2,503百万円（同22.5%減）となりました。

セキュリティ事業におけるセグメント別の売上高は、常駐警備部門39,941百万円（同11.7%増）、機械警備部門22,575百万円（同3.2%増）、運輸警備部門3,536百万円（同5.2%増）、工事・機器販売部門10,727百万円（同25.0%増）となりました。特に工事・機器販売部門ではTAKANAWA GATEWAY CITYの特需があり、初めて100億円の大台を達成しました。

これらの結果、セキュリティ事業セグメント全体では、売上高76,781百万円（同10.4%増）、セグメント利益（営業利益）4,166百万円（同5.2%増）となりました。

Q 第54期の業績を
振り返っていかがでしょうか

第54期（2026年2月期）は、中期経営計画「想い2030～連携して実現する～」の初年度として、TAKANAWA GATEWAY CITYに関する工事・機器販売と新規警備開始、大阪・関西万博における臨時警備対応、日本連合警備（山梨）や総和防災（茨城）のM&Aによるグループ化、セーフティーセキュリティへの資本参加と業務提携など、堅調に事業運営をしながら、成長への布石を着実に進めた一年となりました。

また、処遇改善を含む人的投資や基幹システムの更新準備といった将来に向けた基盤整備を進めたことにより、利益面では厳しい状況になっていますが、こうした投資は現場第一線を支える人材の確保・定着や、将来の事業成長に不可欠なものであり、「人」と「技術」を軸とするCSPの強みを一段と高めるための一年でもあったと考えています。

Q 創業60周年を迎えましたが、
これまでに振り返っていかがでしょうか

CSPは1966年の創業以来、「人による質の高い警備」を大切にするとともに、機械警備にも早くから取り組み、技術サービス企業としてレベル向上を図り、社会の安全・安心を支えてまいりました。歴史を紐解くと、創業から3か月後には来日したビートルズの警備の一部を請け負い、創業5年目の1971年には警備業界初の研修所を開設、翌1972年には住友商事様と三井物産様とともに機械警備のためのセントラルシステム警備という機械警備会社を設立して機械警備を開始しました。さらに1997年にはJR東日本との業務提携をしましたが、その基本方針に次の項目があります。

- ・両社は対等な立場で業務提携関係を構築する。
- ・また、業務提携に際しては、JR東日本はCSPの創業の理念を尊重する。

これは、業務提携時のJR東日本の社長が、創業者森田健三氏の出身高校である札幌北高校の後輩で友人の「松田昌士」氏であったことも関係しているのかもしれませんが。私たちは、この熱い想いも受け継いで頑張ってきました。日々地道に警備・サービスを提供することはもちろんのこと、東京オリンピック・パラリンピックや大阪・関西万博といった大型イベントへの貢献など、幅広く実績を重ねて信頼もいただけてきました。そして今回、TAKANAWA GATEWAY CITYという大きな街全体の警備・サービスも任されています。

創業60周年を迎えられたのも、仕事に携わってきた社員一人ひとりの地道な努力と、私たちを温かく見守っていただいた株主の皆さまをはじめとする多くのステークホルダーの皆さまのご指導とご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

Q 今後のCSPの展望について、
お聞かせください

CSPは「人による質の高い警備」と「技術サービス企業」を掲げて、人と技術を融合させた警備・サービスを提供してきま

した。これからはAIやクラウドを活用して、人と技術の融合を最適化させて、よりレベルの高い警備・サービスの提供を目指します。「想い2030」には、その考え方と具体的な実現項目を示しており、それらを着実に実現していきます。その一つが、TAKANAWA GATEWAY CITYに導入したセキュリティプラットフォーム「梯（かけはし）」を活用したエリアマネジメントの展開です。高輪の地で得た知見を応用することで、よりレベルの高い警備・サービスを他の箇所にも導入するべく、新たな街づくりのプロジェクトに加え、既存エリアへの導入についても検討を始めています。

また、セーフティーセキュリティとの協業・北海道クリーンシステムとの業務提携・スマートパーキングへの挑戦・ドローンの特定分野への提供など、CSPらしさを意識しながらマーケットの拡大に取り組んでいきます。M&Aについては、さらに戦略的に取り組みます。

このように安定した収益基盤を築きながら、企業価値の向上を目指してまいります。

Q 株主の皆さまへメッセージを
お願いします

株主の皆さまには、温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

創業60周年は一つの通過点であり、これまで培ってきた信頼と実績を次の世代へと確実につないでいくことが、未来の人々も含めたすべての人々の幸福を追求する私たちCSPに求められる役割であると考えています。

当期の期末配当につきましては、株主の皆さまへの安定的な還元を重視する基本方針のもと、中間期と同額の1株当たり30円といたしました。なお、今後は配当性向に加えDOEの指標も意識した配当を検討しており、2027年2月期の配当は61円（中間30円・期末31円）を想定しています。

今後も「想い2030」に基づき、社会の安全・安心・快適を支えるインフラ企業として、株主の皆さまのご期待に応えられるように、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集 創業60周年に関する取り組み

おかげさまで創業60周年

2026年3月10日、おかげさまで創業60周年という大きな節目を迎えることができました。これまで、多くの皆さまに支えられながら、創業の理念を礎に、人による質の高い警備を大切にするとともに、時代に応じた最新技術を積極的に活用し、警備サービスの高度化に取り組み、社会の安全・安心を守り続けてまいりました。心より感謝申し上げます。

これまでの皆さまのご支援への感謝を胸に、今後はAIも活用した人と技術の最適な融合によるレベルの高い警備・サービスを提供して、次の時代に向けて着実に歩みを進めてまいります。



TAKANAWA GATEWAY CITYにて記念式典および祝賀会を挙行

記念式典では、長年にわたり事業の発展を支えてきた社員への表彰を行い、現場第一線における努力と貢献に対する感謝の意を示してまいりました。続く祝賀会には、お取引先をはじめ関係各社の方々にご出席を賜り、当社の今までの歩みに対して感謝の気持ちを伝えるとともに、TAKANAWA GATEWAY CITYという未来志向の舞台において、今後の成長に向けた強い想いをお伝えしました。



記念行事（代表社員による答辞）



祝賀会（市川社長による挨拶）

東京事業部
中松世羅

この度、CSP創業60周年という節目に「優良社員表彰」をいただくことができ、大変嬉しく思います。日頃より、お客さま・上司や同僚の期待に応えるため、目の前の仕事を全力で取り組んできたことが認められ、重ねて嬉しく思います。

記念祝賀会では、JR東日本様とのパートナー契約に至った秘話や、イメージキャラクターに岡田准一さんを起用した経緯、他の事業部・支社の方とも交流することができ、普段聞けない話を多く聞いたことは大変いい経験となりました。

現在、派遣隊の副隊長として日々勤務しておりますが、今後も女性社員から模範となり、頼られる存在を目指しコミュニケーション能力の向上に努め、今後の人生もCSPとともに長く付き合い「楽しんで仕事をしていきたい」と考えております。

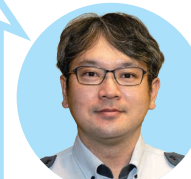
関西事業部
荘司雄一郎

この度は、記念祝賀会に出席する機会をいただきありがとうございます。これまで25年間、お世話になった方々に、心より感謝いたします。振り返ればあっという間に感じますが、出向や異動、さまざまな社内イベントなどを通じて、社内外で多くの方々と出会い、成長してきた中身の濃い25年間であったと感じています。

良いことも悪いこともありますが、楽しい祝賀会でともに盛り上げられる仲間がいることに幸せを感じました。これからも精進していきますので、引き続きよろしく願いいたします。

創業60周年を迎えるCSPの記念すべき年に、勤続20年の表彰をいただき、大変嬉しく思うとともに、長い歴史を持つCSPの警備業務に携わることができたことを光栄に思います。グランドオープンを目前に控え、CSPの最新警備サービスであるセキュリティプラットフォーム「梯」が稼働するTAKANAWA GATEWAY CITYでの式典と記念祝賀会に参加することができ、これまでお世話になった上司や同僚、そしてお客さまとともにお祝いできたことは、私自身にとって記念に残るものとなりました。

常駐警備では隊員一人ひとりの技能と知識が警備サービスの品質を支えています。今後もお客さまの期待と要望に応え続けられるよう、人材育成にも取り組みながら、日々の業務に励んでまいります。

多摩支社
若狭大樹

創業60周年という記念すべき節目に、優良運転者として表彰を賜り、大変光栄に存じます。厳かな式典、そして盛大な祝賀会を通じて、長きにわたる会社の歩みと多くの先輩方の努力を肌で感じ、改めてCSPの一員である誇りを強くいたしました。

今回の受賞は、日頃の安全意識の積み重ねが評価されたものであると大変嬉しく思います。今後はこの栄誉に恥じぬよう、より一層“安全・安心”を体現する運転を継続し、後輩の模範となれるよう精進してまいります。ありがとうございました。

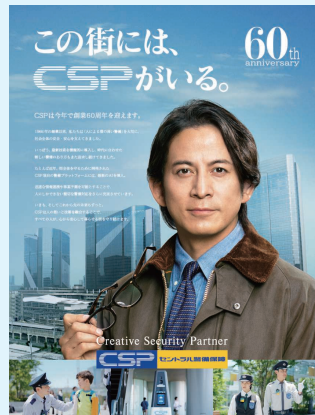
東京システム事業部
藤田譲

創業60周年を機に、記念広告の掲載や 記念冊子・記念動画を制作しました

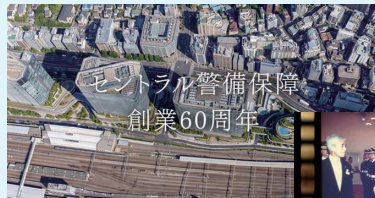
創業60周年記念の主なトピックス

創業60周年の記念動画を制作

日本経済新聞一面広告に掲載



「るるぶ特別編集
(創業60周年記念号)」を発行



創業60周年記念動画は
こちらから
ご覧いただけます。

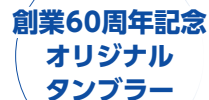
株主の皆さまへ感謝を込めて

創業60周年記念オリジナルタンブラープレゼントのお知らせ

日ごろのご愛顧への感謝の気持ちを込めまして、CSPの創業60周年を記念し制作したオリジナルデザインのタンブラーを抽選で60名様にプレゼントいたします。本タンブラーは、社員が心を込めてデザインしたオリジナル品です。

プレゼントは、下記の株主アンケートにご回答いただいた株主様の中から、抽選によりお送りいたします。ぜひこの機会に、皆さまのお声もお聞かせいただけましたら幸いです。

プレゼントのご応募および株主様アンケートはこちらからどうぞ



株主の皆さまとの新たな コミュニケーションチャンネルのご紹介

当社は、株主・投資家の皆さまに、当社の事業内容や経営の考え方、決算情報をより正確に、かつ分かりやすくお伝えすることを目的として、さまざまな情報発信の取り組みを進めております。その一環として、以下の外部プラットフォームを活用した情報開示の場を設けております。

■ ログミーファイナンス（決算書き起こし公開）

当社では、決算説明会の内容について、「ログミーファイナンス」を通じて書き起こし記事を公開しております。会員登録は不要で、発言内容をそのまま文章でご覧いただくことができますので、決算の状況をより正確に、いつでもご確認できる環境となっております。(※会員登録いただくと、掲載記事内のQ&Aまで閲覧いただけます) 今後も、情報の透明性を重視し、すべての株主・投資家の皆さまに適切な情報開示に努めてまいります。



該当記事はこちらから
ご覧いただけます。



<https://finance.logmi.jp/articles/384336>



ディスカ場 (Powered by 日興アイ・アール)

日興アイ・アール株式会社が運営する投資家向け動画プラットフォーム「ディスカ場」の企画「ズバリ質問!あの企業の〇〇」に参加いたしました。本企画では、第三者の視点を交えながら、当社の事業の特長や強み、今後の取り組みについて動画を通じて分かりやすくご紹介しております。数字だけでは伝わりにくい当社の姿や考え方を、より身近に感じていただける内容となっておりますので、ぜひご覧ください。

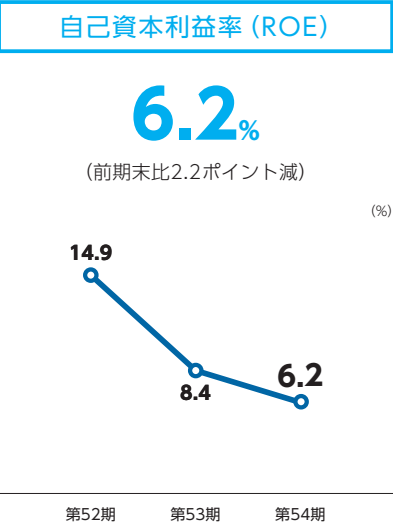
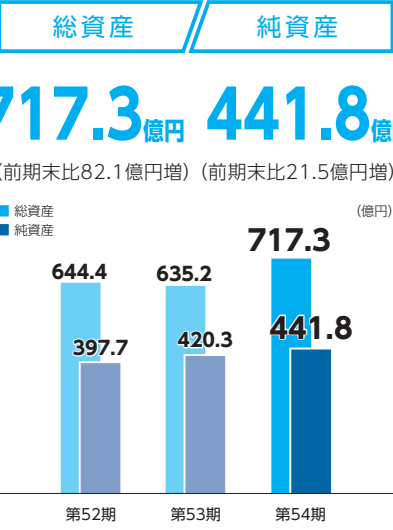
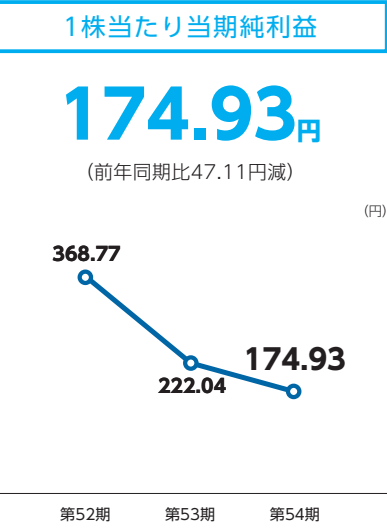
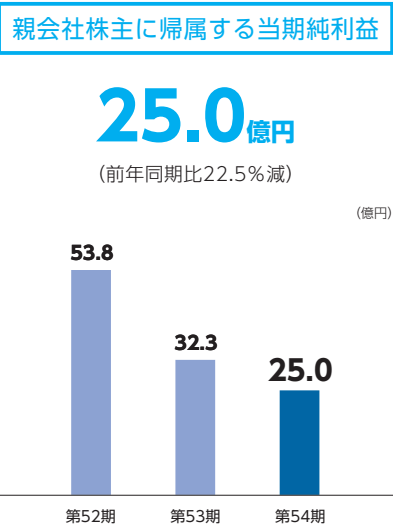
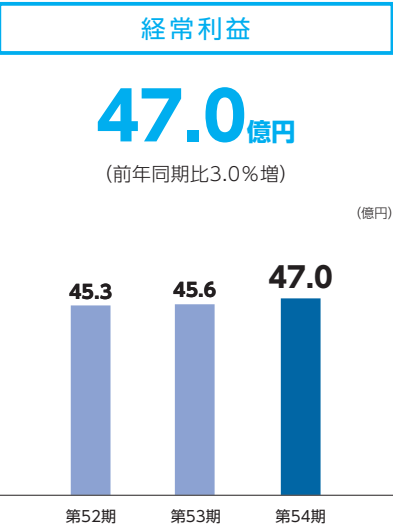
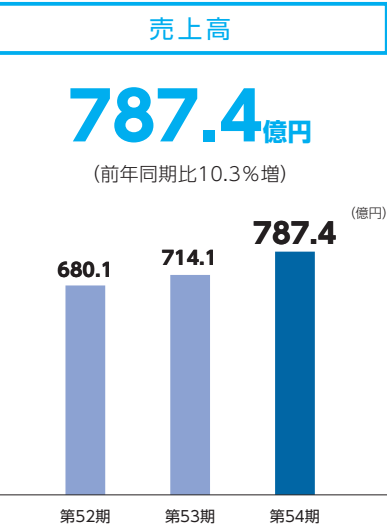
※動画公開はHPにてお知らせいたします。



当社はこれからも、「開かれた情報開示」と「双方向のコミュニケーション」を大切にし、株主・投資家の皆さまとの対話を一層充実させてまいります。今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結財務ハイライト

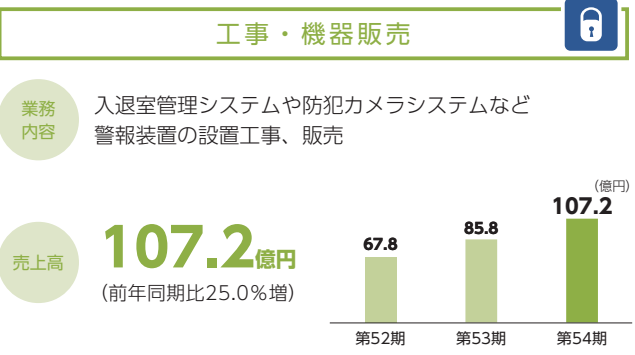
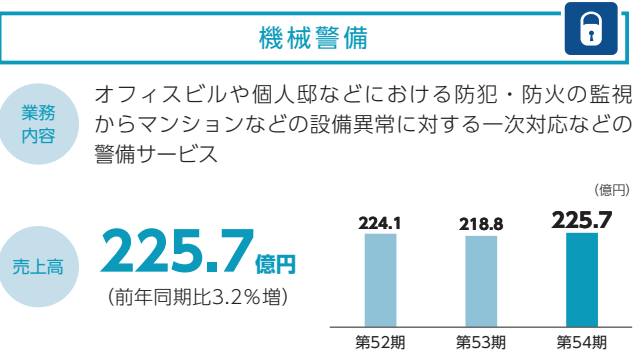
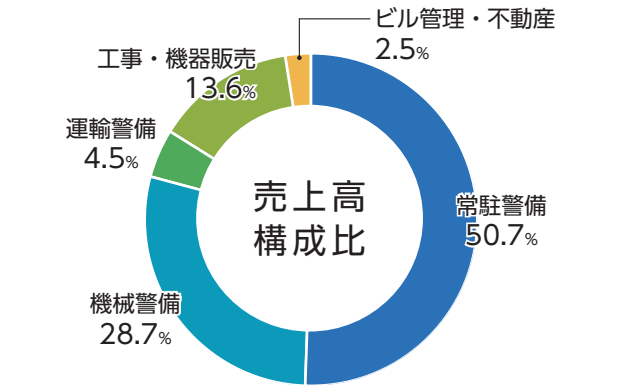
主要経営指標の推移



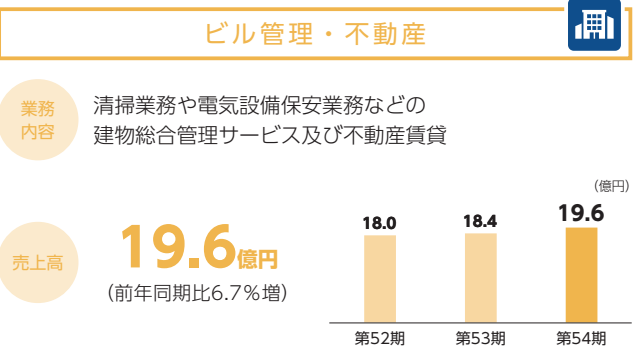
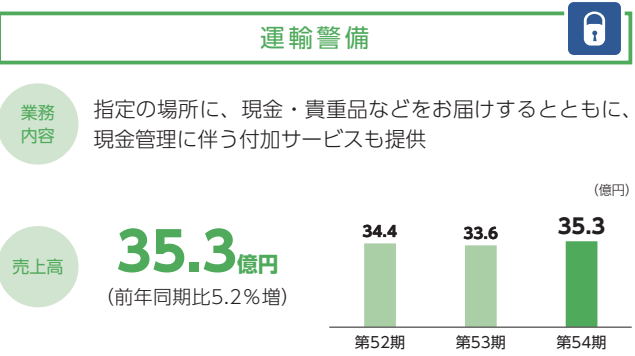
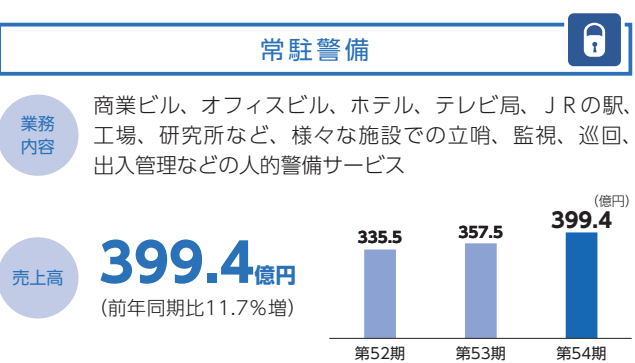
より詳細な情報は当社ホームページをご覧ください。
<https://www.we-are-csp.co.jp/ir/index.php>

CSP IR情報 検索

セグメント情報



セキュリティ事業 ビル管理・不動産事業



セーフィーセキュリティ株式会社への資本参加および業務提携

～警備・監視領域拡大へセーフィーセキュリティとCSPの新たな連携～

協力して目指すビジョン

人と技術が最適に融合した警備サービスを提供し、次世代の安心を創出していきます。

次世代の機械警備の実現

異常検知した状況をクラウドカメラでCSPが遠隔確認し、高品質な警備を競争力ある価格で提供するだけでなく、AIを活用し、CSP中期経営計画で掲げる「必要な時に、速やかに寄り添い、適切に対応」する次世代の機械警備サービスを実現していきます。



高品質な警備を競争力ある価格で提供

AIカメラ活用による非警備分野で課題の解決

AIカメラ技術の高度化により、人の監視負担の軽減が期待される中、CSPの画像監視基盤・ノウハウとセーフィーのAIカメラにより人と技術を融合させ、警備以外の分野でも、さまざまなお客さまの課題を解決していきます。



遠隔対応や状況の即時把握・分析・対応

新たなマーケットの開拓に挑戦

株式の状況

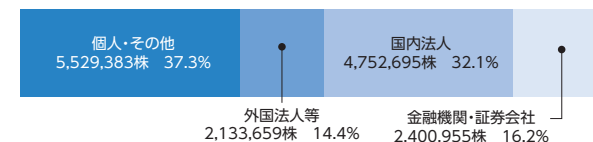
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	14,816,692株
株主数	4,965名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東日本旅客鉄道株式会社	3,704	26.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,179	8.40
光通信KK投資事業有限責任組合無限責任組合員光通信株式会社	629	4.48
セントラル警備保障社員持株会	569	4.06
セントラルセキュリティリーグ持株会	510	3.63
BNYMSANV RE BNYMIL RE WS ZENNOR JAPAN EQUITY INCOME FUND	452	3.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	445	3.17
竹花 長雅	230	1.64
徳田 伸子	223	1.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	221	1.58

(注) 1.持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。
2.持株比率は、自己株式(784,078株)を控除して計算しており、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	公告の方法	当社のホームページに掲載する。 https://www.we-are-csp.co.jp/	(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年5月開催	株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	(電話照会先)	☎ 0120-782-031
基準日	期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

会社概要

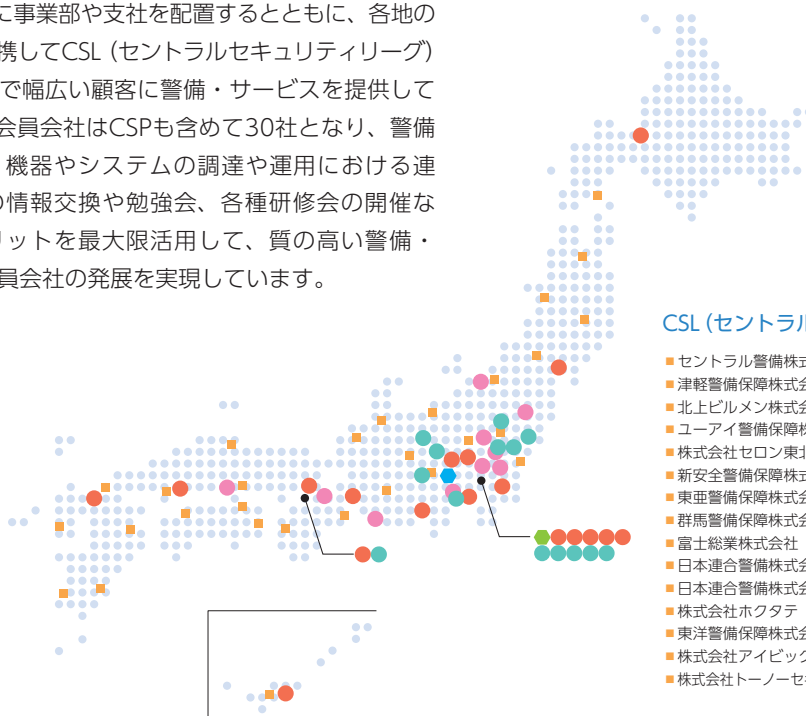
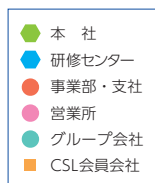
商号	セントラル警備保障株式会社 CENTRAL SECURITY PATROLS CO.,LTD.
創業	1966年3月10日
設立	1972年4月19日
資本金	29億2,400万円
従業員数	3,995名

役員 (2026年5月28日現在)

取締役会長	澤本 尚志		
代表取締役執行役員社長	市川 東太郎		
取締役常務執行役員	楠木 啓之	増崎 昌子	下田 隆文
取締役 監査等委員	立花 博美		
取締役 監査等委員(社外)	檜山 竹生	唐津 真美	樋口 稔洋
常務執行役員	渡部 博幸	松本 直樹	原田 茂雄
	三谷 武士		
執行役員	宮本 直行	嶋原 公男	遠藤 武彦
	田邊 裕喜	八幡 誠	古野 暁
	小川 健司	今村 繁喜	加藤 勉
	菊地 美佐男	寺田 晶	田嶋 健治

日本全体に安心をお届けするCSL (セントラルセキュリティリーグ) のネットワーク

CSPは、主要都市に事業部や支社を配置するとともに、各地の優良警備会社と提携してCSL (セントラルセキュリティリーグ) を結成して、全国で幅広い顧客に警備・サービスを提供しています。現在CSL会員会社はCSPも含めて30社となり、警備実務の相互協力、機器やシステムの調達や運用における連携、営業や技術の情報交換や勉強会、各種研修会の開催など、スケールメリットを最大限活用して、質の高い警備・サービス提供と会員会社の発展を実現しています。



CSL (セントラルセキュリティリーグ) 会員会社

- セントラル警備株式会社
- 津軽警備保障株式会社
- 北上ビルメン株式会社
- ユーアイ警備保障株式会社
- 株式会社セロン東北
- 新安全警備保障株式会社
- 東亜警備保障株式会社
- 群馬警備保障株式会社
- 富士総業株式会社
- 日本連合警備株式会社 (山梨)
- 日本連合警備株式会社 (長野)
- 株式会社ホクタテ
- 東洋警備保障株式会社 (石川)
- 株式会社アイビックス
- 株式会社トーノーセキュリティ
- イセツ株式会社
- 和歌山警備保障株式会社
- 株式会社山陽セフティ
- 北陽警備保障株式会社
- 株式会社CGSコーポレーション
- 東洋警備保障株式会社 (徳島)
- 四国警備保障株式会社
- 株式会社セキュリティエヒメ
- 第一警備保障株式会社
- 株式会社ふよう長崎
- 日本連合警備株式会社 (大分)
- 企業警備保障株式会社
- 株式会社ゼンケイ
- 株式会社南日本警備保障

(2026年2月28日現在)

CSPのホームページと公式SNSのご案内

当社は公式サイトやソーシャルメディアで企業活動をお伝えしております。ぜひご覧ください。

YouTubeショート



<https://www.youtube.com/@CSPOFFICIALShort-np8jf>

YouTube



<https://www.youtube.com/@cspofficial459>



CSP セントラル警備保障 創業60周年記念動画

Instagram (採用用)



https://www.instagram.com/csp_we_are/



採用用 InstagramCSPホーム画面

公式サイト



<https://www.we-are-csp.co.jp/>



※画像はCSPホームページの採用サイトページです。